

(11) 実用新案登録番号

第3001714号

(24)登録日 平成6年(1994)6月29日

技術表示箇所

D

B

M 8604-2C

評価書の請求 未請求 請求項の数 2 OL (全 11 頁)

(73)実用新案権者 000108052

セキセイ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区松崎町 2 丁目 6 番 43 号

(72) 考案者 西川 治子

大阪市阿倍野区松崎町2丁目6番43号 セ
キセイ株式会社内

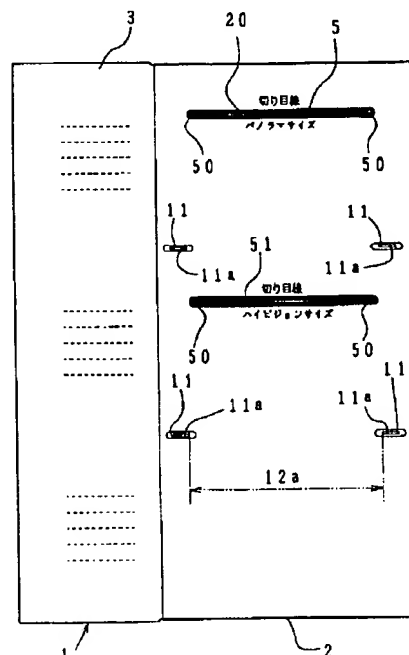
(74)代理人 弁理士 坂上 好博

(54)【考案の名称】 アルバム用台紙

(57)【要約】

【目的】 台紙片(1)の表裏に透明シート(2)を部分的に添着させて、一側開放のポケット部(10)(10)を上下に少なくとも3つ連設してなるポケット式アルバム用の台紙に関するものであり、パノラマサイズの写真も容易に収容できるようにするとともに、収容後の写真は不用意に脱落しないようにすること。

【構成】 各ポケット部(10)の大きさをLサイズの写真(L)が横向きに密に収容されるように設定し、ポケット部(10)(10)の境界の区画辺部に、透明シート(2)が台紙片(1)から離れた浮陸開放部(12a)を設け、この浮陸開放部(12a)の長さをLサイズの写真(L)の長辺よりも短く且パノラマサイズの写真(P)の短辺よりも長く設定するとともに、前記台紙片(1)の下辺からパノラマサイズの写真(P)の長辺の長さ以上離れた上辺寄りの所定位置に、パノラマサイズの写真(P)の短辺長さに略一致する長さの切り目線(S)を印刷したこと。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 台紙片(1)の表裏に透明シート(2)を被覆させて側方に開放する3つのポケット部(10)(10)を上下に連設してなるポケット式アルバム用の台紙において、各ポケット部(10)の大きさをLサイズの写真(L)が横向きに密に收容されるように設定し、ポケット部(10)の境界の区画辺部に、透明シート(2)が台紙片(1)から離れた浮陸開放部(12a)を設け、この浮陸開放部(12a)の長さをLサイズの写真(L)の長辺よりも短く且パノラマサイズの写真(P)の短辺よりも長く設定するとともに、前記台紙片(1)の下辺からパノラマサイズの写真(P)の長辺の長さ以上離れた上辺寄りの所定位置に、パノラマサイズの写真(P)の短辺長さに略一致する長さの切り目線(5)を印刷したアルバム用台紙。

【請求項2】 台紙片(1)における切り目線(5)の両端部に相当する箇所に、孔部(50)(50)を開口させた請求項1に記載のアルバム用台紙。

*

2

*【図面の簡単な説明】

【図1】本考案実施例のアルバム用台紙の説明図。

【図2】Lサイズの写真(L)を收容した状態を示す説明図。

【図3】パノラマサイズの写真(P)を收容した状態を示す説明図。

【図4】ハイビジョンサイズの写真(H)を收容した状態を示す説明図。

【図5】従来のポケット式アルバムの台紙の説明図。

10 【符号の説明】

(1)・・・台紙片

(10)・・・ポケット部

(12a)・・・浮陸開放部

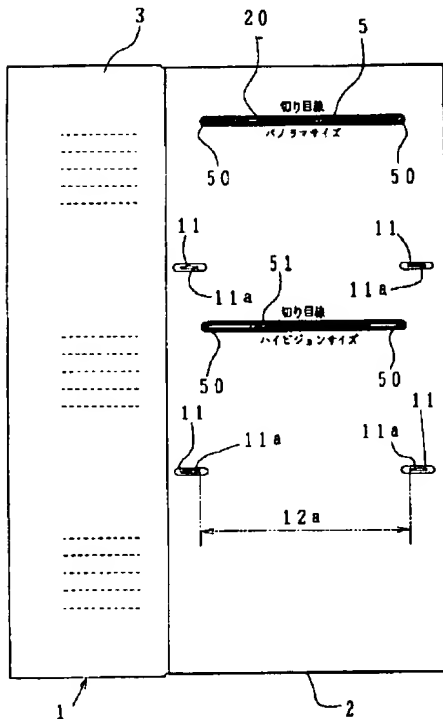
(2)・・・透明シート

(5)・・・切り目線

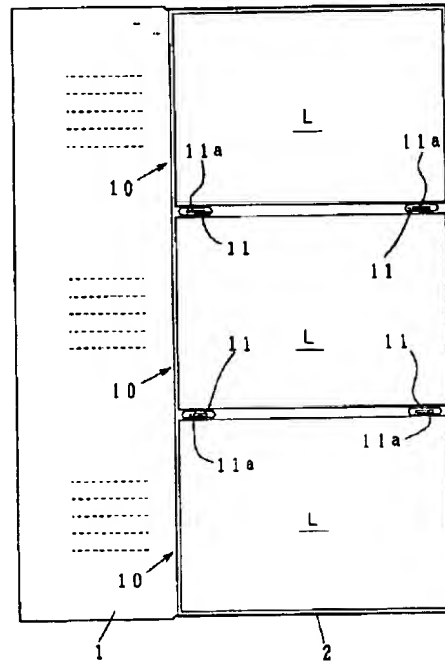
(L)・・・Lサイズの写真

(P)・・・パノラマサイズの写真

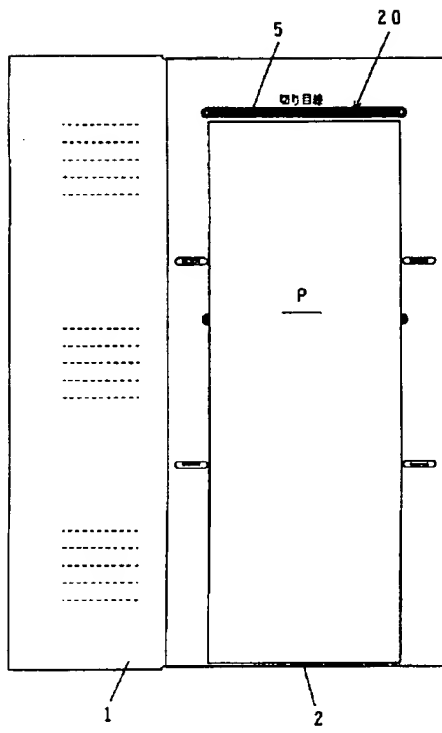
【図1】



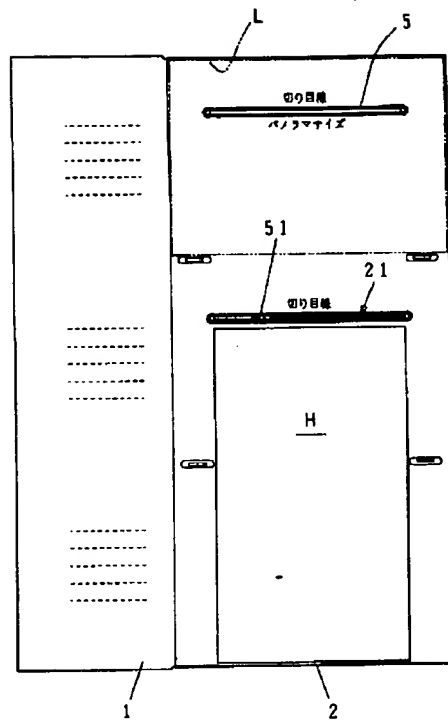
【図2】



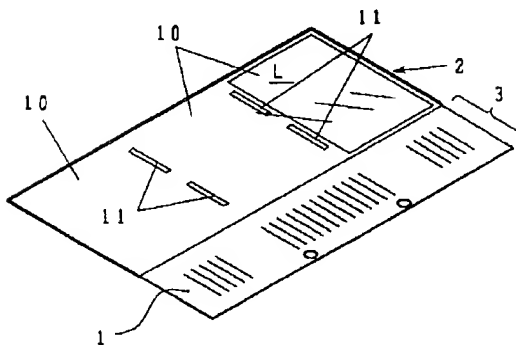
【図3】



【図4】



【図5】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は、アルバム用台紙、特に、写真等の紙葉類を各台紙片に設けられたポケット部に収容して綴じ込む形式のポケット式アルバムの台紙に関するものである。

【0002】

【従来技術及び課題】

ポケット式アルバムの台紙は、図5に示すように、台紙片(1)の表裏に、透明シート(2)を被覆させることによって、側方に開放する複数のポケット部(10)(10)を上下に連設させた構成のものが一般的である。前記台紙片(1)における各ポケット部の境界線上には透孔(11)(11)が穿設され、前記透明シート(2)の表面側と裏面側とを、前記透孔(11)(11)を介して溶着させることにより、台紙片(1)と一体化させている。

【0003】

尚、台紙片(1)における前記ポケット部(10)の開放部側には透明シート(2)は被覆されておらず、この透明シート(2)の非被覆域がメモ欄(3)として利用されている。

一般に、各ポケット部(10)(10)の大きさは、Lサイズの写真(L)(127mm×89mm)が横向きに収容される程度の大きさに設定されているため、それ以上の大きさの紙葉類は収容することができない。

【0004】

しかしながら、近年、パノラマサイズや縦横の比率が9:16のハイビジョンサイズ等、Lサイズよりも長辺方向に長い型の写真が普及されてきた。

これらサイズの写真を収容するアルバムとして、実開平4-135383号公報に開示のものがあり、これにはパノラマサイズの写真が収容できる種々のアルバム用台紙が考案されている。

【0005】

この中に、上方及び側方に開放するポケット部を上下に連設させた構成のもの

が開示されており、このものでは、従来の手札判乃至Lサイズまでの写真及び横長のパノラマサイズの写真は各ポケットの側方開放部から収容でき、縦長のパノラマサイズの写真は上下に配設されている各ポケットの全ての上方開放部を挿通させることにより収容できるようになっている。

【0006】

このように、この考案のものでは、一冊のアルバムに手札判からパノラマサイズまでの大きさの写真が収容できるので便利であるが、最上段のポケット部の上辺略中央域には開放部が形成されているものであるから、アルバムの上下を逆にした場合等では、該開放部から、収容させた写真が落下してしまう恐れがある。又、前記上辺開放部と側方開放部の間隔が小さいことから透明シート(2)が破損し易い上に、パノラマサイズの写真を収容しない場合では該開放部は無駄になってしまう。

[請求項1の発明について]

【0007】

【技術的課題】

本考案は、このような『台紙片(1)の表裏に透明シート(2)を被覆させて側方に開放する3つのポケット部(10)(10)を上下に連設してなるポケット式アルバム用の台紙』において、パノラマサイズの写真も収容できるようにするとともに、収容後の写真は不用意に脱落しないようにすることを課題とする。

【0008】

【技術的手段】

上記課題を解決するための本考案の技術的手段は、『各ポケット部(10)の大きさをLサイズの写真(L)が横向きに密に収容されるように設定し、ポケット部(10)(10)の境界の区画辺部に、透明シート(2)が台紙片(1)から離れた浮陸開放部(12a)を設け、この浮陸開放部(12a)の長さをLサイズの写真(L)の長辺よりも短く且パノラマサイズの写真(P)の短辺よりも長く設定するとともに、前記台紙片(1)の下辺からパノラマサイズの写真(P)の長辺の長さ以上離れた上辺寄りの所定位置に、パノラマサイズの写真(P)の短辺長さに略一致する長さの切り目線(5)を印刷した』ことである。

【0009】

【作用】

上記技術的手段は次のように作用する。

Lサイズの写真(L)を収容する時には、従来のものと同様に、台紙片(1)と透明シート(2)との間の各ポケット部(10)(10)に横向きに収容させれば良く、このとき、切り目線(5)は、写真(L)の裏側に隠れることとなる。浮陸開放部(12a)の長さはLサイズの写真(L)の長辺よりも短く設定されているから、ポケット部(10)から上下に写真(L)が脱出することはない。

【0010】

パノラマサイズの写真(P)を収容するには、切り目線(5)に沿って透明シート(2)を切開する。透明シート(2)は一般に薄肉樹脂シートにより構成されているものであるから、台紙片(1)を切ることなく該透明シート(2)のみを容易に切開することができる。この切り目線(5)の長さはパノラマサイズの写真(P)の短辺長さに略一致させているから、該切り目線(5)に沿って透明シート(2)に設けた前記切開部から、パノラマサイズの写真(P)を縦長に差し込むことができる。

【0011】

この切開部は、パノラマサイズの写真(P)の短辺の一方を台紙片(1)の下辺に対応させた時に、前記写真(P)の他の短辺が一致する位置以上上辺より離れた所定位置に形成した切り目線(5)に沿って設けられるものであるから、又、各ポケット部(10)(10)の境界の区画辺部に設けた透明シート(2)の浮陸開放部(12a)の長さは、パノラマサイズの写真(P)の短辺長さよりも大きく設定されているから、前記切開部から、パノラマサイズの写真(P)を前記台紙片(1)と透明シート(2)との間にそれらの下辺に向かって縦長に差し込むと、上下に並列している複数のポケット部(10)(10)の浮陸開放部(12a)(12a)を連続して通過しながら、最終的には、前記写真(P)の下辺(短辺)が、最下段のポケット部(10)の下辺に到達する態様で収容されることとなる。

【0012】

収容後の該写真(P)の上辺となる他方の短辺は、前記切り目線(5)の下方に位置することとなる。

【0013】

【効果】

Lサイズの写真(L)のみを収容する場合には、従来のポケットアルバムと同様に収容させることができ、台紙片(1)に印刷した切り目線(5)はこれら写真(L)によって隠れてしまうので見苦しくない。

又、パノラマサイズの写真(P)を収容する場合には、前記切り目線(5)に沿うように透明シート(2)を切開して設けた切開部から前記写真(P)を縦長に差し込めば容易に収容することができるから、通常のLサイズの写真(L)用のポケット式アルバムを必要に応じてパノラマサイズの写真(P)を収容するためのアルバムとして利用することができるので、使い勝手が良い。

【0014】

透明シート(2)に設けた切開部は1本の切り目に過ぎず常時開放しているわけではないから、パノラマサイズの写真(P)を収容した後に、アルバムを逆さにしても、前記切開部から写真(P)が不用意に脱落することはない。

又、切開部を設ける箇所はアルバム台紙の表面上であり、それは携帯中等においても外的衝撃を受けにくい箇所であるから、前記切開部から透明シート(2)が破れてしまう恐れもない。該切開部は必要に応じて設けられるものであるから、従来の、最上段のポケット部(10)の上辺に予め開放部が設けられているもののように、最上段のポケット部(10)が損傷し易いという問題もない。

[請求項2の発明について]

請求項2の発明のものは、請求項1と同様な課題を解決するとともに更に、切り目線(5)に沿って透明シート(2)に切開部を形成し易くするものであり、このために講じた技術的手段は、『台紙片(1)における切り目線(5)の両端部に相当する箇所に、孔部(50)(50)を開口させた』ことである。

【0015】

【作用・効果】

透明シート(2)に切開部を形成したい時、カッター等の刃の先端部を、切り目線(5)の一端の孔部(50)に落とし込み、そのまま切り目線(5)上を、他方の孔部(50)に落とし込めるまで前記刃を走行させればよいから、透明シート(2)上に切

開部を形成する際の位置決めが容易に行える。すなわち、前記切開部が切り目線(5)に対して歪んだり、切り目線(5)よりも長く形成してしまったりすることなく、確実に切り目線(5)の上にそれに沿った切開部を形成することができる。

【0016】

【実施例】

次に、上記した本考案の実施例を図面に従って詳述する。

本考案のアルバム用台紙は、図1に示すように、台紙片(1)の表裏両面に透明の樹脂シートからなる透明シート(2)を、台紙片(1)の縦じ辺側近傍を除いた範囲に被覆させるとともに部分的に台紙片(1)に添着させることにより、側方開放のポケット部(10)(10)を上下に3つ形成する構成とするもので、台紙片(1)の縦じ辺側の前記透明シート(2)の非被覆域は、メモ欄(3)として利用される。

【0017】

台紙片(1)の大きさは従来のこの種ポケット式アルバムのそれに一致させており、各ポケット部(10)の大きさはLサイズの写真(L)が横向きに密に収容可能な大きさに設定する。

各ポケット部(10)の境界の区画辺上には横長の透孔(11)(11)が2つずつ穿設されており、この実施例のものでは、上下の透孔(11)(11)間の間隔は、前記Lサイズの写真の短辺長さに略一致させており、左右の該透孔(11)(11)の間隔は、パノラマサイズの写真(P)の短辺長さに略一致するように設定されている。

【0018】

該透明シート(2)は、幅が台紙片(1)の縦長さに略一致し且開放端までの高さがポケット部(10)の横長さに一致する大きさの扁平な袋状に形成されており、この透明シート(2)内に台紙片(1)を縦に挿入させることにより、上記したように、台紙片(1)の表裏両面で且メモ欄(3)の形成域を除いた範囲のみに、透明シート(2)が被覆せしめられることとなる。

【0019】

このように台紙片(1)に被覆させた扁平袋状の透明シート(2)の表裏面を前記透孔(11)(11)を介して溶着させる。すると、透明シート(2)は台紙片(1)に対して抜け止め状態に取り付けられるとともに、台紙片(1)の表裏両面に、台紙片(1)

）と透明シート(2)とからなり且前記透孔(11)(11)を介して上下に並列するポケット部(10)(10)が形成されることとなる。

【0020】

尚、前記透孔(11)(11)を介して溶着される溶着部(11a)(11a)相互の間隔に相当する浮陸開放部(12a)は、Lサイズの写真(L)の長辺よりも短く且後述のパノラマサイズの写真(P)の短辺長さよりもやや長く設定されている。

前記台紙片(1)上において、その下辺からパノラマサイズの写真(P)の長辺長さよりもやや上辺寄りの所定位置に、パノラマサイズの写真(P)の短辺長さに略一致し且台紙片(1)の上下辺に平行な近接する2本の線分をその両端部で連続させた形状の切り目線(5)を印刷しておく。この切り目線(5)の両端部における2本の線分の連結部には、丸孔(50)(50)を開口させておく。

【0021】

同様に、台紙片(1)の下辺から、ハイビジョンサイズの写真(H)の長辺長さよりもやや上辺寄りの前記台紙片(1)上の所定位置に、前記切り目線(5)と同様な切り目線(51)を前記切り目線(5)に平行に印刷しておく。この切り目線(51)の両端部にも同様な丸孔(50)(50)を開口させておく。

この実施例のものでは、Lサイズの写真(L)は、図2に示すように、各ポケット部(10)に横向きに収容される。各ポケット部(10)は、上記した構成であるから、上下のポケット部(10)(10)の境界辺のうち、閉塞されて区切られている箇所は、前記溶着部(11a)(11a)の2か所だけであるが、これら溶着部(11a)(11a)間に形成されている浮陸開放部(12a)の長さは、上記したように、パノラマサイズの写真(P)の短辺長さよりもやや長く且Lサイズの写真(L)の長辺長さよりも短く設定されているから、又、上下の透孔(11)(11)間の長さは、上記したようにLサイズの写真の短辺長さに略一致させているものであるから、該Lサイズの写真(L)は各ポケット部(10)内に密に収容されることとなる。よって、ポケット部(10)内に収容させた写真(L)はその開放部側から抜け落ちたり、下方のポケット部へずれ込んだりすることはない。

【0022】

パノラマサイズの写真(P)を収容する場合には、台紙片(1)上に印刷されてい

る切り目線(5)及び切り目線(51)のうち、上側の切り目線(5)に沿って、その上方を被覆している透明シート(2)を切開する。この時、前記切り目線(5)の両端の丸孔(50)(50)のそれぞれの中心点を結ぶように定規等を当てがい、カッターナイフ等の刃の先端部を一方の丸孔(50)に差し込むとともにそのまま前記定規等に沿わせて他方の丸孔(50)に至るまで刃を走行させる。すると、透明シート(2)は、薄い樹脂シートで構成されており且台紙片(1)は厚紙によって構成されているものであるから、カッターナイフの刃を走行させることにより、台紙片(1)は切れず、透明シート(2)のみが切られて切開部(20)が形成されることとなる。

【0023】

そして、該切開部(20)から、パノラマサイズの写真(P)を縦長に且その下端となる短辺が最下段のポケット部(10)の下辺に当接するまで差し込めば、図3に示すように、パノラマサイズの写真(P)を収容することができる。各ポケット部(10)(10)の境界の区画辺上に形成されている浮陸開放部(12a)の長さは、パノラマサイズの写真(P)の短辺長さよりもやや長く設定させているから、パノラマサイズの写真(P)は、上下3段のポケット部(10)(10)を連通する態様で収容されることとなる。

【0024】

又、ハイビジョンサイズの写真(H)を収容させるには、前記台紙片(1)に印刷されている下側の切り目線(51)に沿って、その上方を被覆している透明シート(2)を、上記と同様な方法により切開して切開部(21)を形成すれば良い。この切開部(21)から、ハイビジョンサイズの写真(H)を縦長にして差し込めば、図4に示すように、中段と最下段のポケット部(10)(10)を連通する態様で、該ハイビジョンサイズの写真(H)を収容することができる。この場合、最上段のポケット部(10)には、同図の二点鎖線に示すように、Lサイズの写真(L)を収容することができる。

【0025】

これら切開部(20)(21)としては、透明シート(2)上に1本の切り目が形成されているだけであるから、又、この透明シート(2)は台紙片(1)に略密着状態に被覆せしめられているものであるから、前記切開部(20)(21)は、形成後、大きく開

放することはない。よって、パノラマサイズの写真(P)又はハイビジョンサイズの写真(H)を収容している最中に、これら写真が該切開部(20)(21)から不用意に抜け落ちることはない。

【0026】

又、パノラマサイズの写真(P)やハイビジョンサイズの写真(H)を収容する必要がある場合は、切開部(20)(21)は形成されることがないから、通常のポケット式アルバムと同様に使用できるとともに、台紙片(1)に印刷されている切り目線切り目線(5)(51)は収容させた写真(L)によって隠されてしまうので、アルバム使用中においては、これら印刷が見苦しいといった不都合はない。

【0027】

又、この場合、不必要な切開部は形成されないから、該切開部の周縁から不用意に透明シート(2)が破損するといった問題もない。